

1906年製の スタインウェイの魅力 を堪能する3日間



2018 12/5 (水) 岩井のぞみピアノコンサート

1906年製のスタインウェイの魅力を楽しめる3日間 その他の日時・スケジュールのお知らせ

12/4 (火) 高橋優介ピアノコンサート

ピアノ 高橋優介

12/6 (木) オペラハイライト [ラ・ボエーム]

ミミ 生野やよい ムゼッタ 佐藤篤子 ロドルフォ 小野弘晴 マルチェロ 寺田 功治
ピアノ 下岡達朗

場所・開演時間・開場時間・チケット料金・お問い合わせ先等につきましては、3日間同様になります。

場所 JTアートホール アフィニス

19:00開演 [18:30開場]

全席指定 (税込) 6,800円

東京都港区虎ノ門 2-2-1 JTビル 2F



TEL 03-5572-4945 mapやアクセスの情報はこちらから

チケットのお取り扱い：お問い合わせ

公益財団法人

文化科学教育研究会 MAIL bunkakagaku@imanager.co.jp

TEL 03-6435-3874

■ 主催：公益財団法人文化科学教育研究会

■ 協賛：日本ピアノホールディング株式会社 ピアノプラザ群馬

Program

モーツァルト ロンド イ短調 作品511

シューベルト ピアノソナタ

第13番 イ長調 D.664

ベルク ピアノソナタ 作品1

ショパン夜想曲 第7番 嬰ハ短調 作品27-1

夜想曲 第8番 変ニ長調 作品27-2

ベートーヴェン ピアノソナタ

第14番 嬰ハ短調 作品27-2 「月光」

(曲目は変更になる場合があります。)

ピアニスト 岩井 のぞみ (Pianist: Nozomi IWAI)

～プログラムについて～

1906年に製造されたこのスタインウェイピアノだからこそ、奏者としても楽器と対話しがいのある作品をと、毎回選曲には熱が入るものです。普段、あまり先にテーマを決めてプログラムを組む事はしないのですが、今回はあえて「光と闇」を一つの大きなテーマとしてプログラムを構成してみました。光は暖かく神々しく、希望を連想させると同時に、強すぎれば稲光や痛みを思い出させるでしょう。同じように闇も冷たさや恐れ、絶望を連想させると同時におだやかな闇というものも存在するはずなのです。今回は前半にモーツァルトとシューベルト、後半にはベルク・ショパン・ベートーヴェンの作品を予定しております。特に後半のベルクやベートーヴェンの第1楽章の切なさや悲愴感の陰影はとても美しく、ショパンの夜想曲作品27の2つの作品は、まさにそれぞれが光と闇の対比であるかのようです。約110年生き延びたからこそ、このピアノ自身から伝わってくる意思やイメージを全身で受けとめ、それぞれの作品の様々な「光と闇」を、このピアノの音色を通じて、当日皆様にお届けできたらと願っております。



岩井 のぞみ プロフィール

4歳からピアノを始め、桐朋学園大学付属子供のための音楽教室・桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を2009年に卒業後、研究科に在籍し渡米。これまでに植田克己、丸山 滋、上野久子、Tamas Ungar の各氏に師事し、渡米後は TEXAS CHRISTIAN UNIVERSITY SCHOOL OF MUSIC の ARTIST DIPLOMA PROGRAM 及び同大学の大学院に在籍。これまでに1997年PIARAピアノコンクール全国大会にて最優秀賞、2005年ロゼピアノコンクール第1位、2006年大阪国際音楽コンクールピアノ部門第2位、2010年MTNAコンクールテキサス地区大会にて honorable mention を受賞。また、TEXAS CHRISTIAN UNIVERSITY で行われたコンチェルトコンクールを征し2011年に TEXAS CHRISTIAN UNIVERSITY シンフォニーオーケストラと競演。同年イタリアで開催された INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION でも honorable mention を、ルイジアナ州で開催された THE WIDEMAN INTERNATIONAL PIANO COMPETITION では特別賞を受賞。2013年にはポーランドで開催された第3回バルティック国際ピアノコンクールにて第3位、2015年 イタリアで行われたチッタ・ディ・カントゥ国際ピアノコンクールでは最優秀ベートーヴェン協奏曲演奏者に送られる特別賞を、また、2016年ドイツで開催されたシューベルト国際ピアノコンクールでも審査委員特別賞を受賞。また、PIANO TEXAS INTERNATIONAL ACADEMY & FESTIVAL、SCHLERN INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL などの音楽祭や BANFF CENTRE PIANO MASTER CLASS、International Piano Master Classes in Katowice をはじめ数々の、マスタークラスに参加するなど、日米のみならず世界各地で積極的に演奏活動を行っている。2012年5月、紀尾井ホールにて日本でのデビューリサイタル開催。また、セッション録音によるCD「岩井のぞみピアノリサイタル」をハーモニーよりリリース。2014年4月には紀尾井ホールにて第2回リサイタルを開催し、ハイレゾライブ録音によるアルバム「Nozomi Iwai Piano Recital 2014」を RME PremiumRecording よりリリース。

パリで発掘された1906年製 ハンブルグ・スタインウェイ D-274

今回のコンサートで使用するピアノは、パリで発掘された1906年製のハンブルグ・スタインウェイ D-274 コンサートグランドピアノである。国内で注目されるヴィンテージ・スタインウェイのコンサートモデル D-274 は主にニューヨーク製だが、今回のピアノはハンブルグ製である。ニューヨーク製のスタインウェイは、二度の世界大戦で被害を受けなかったため数多く残っているのに対し、ハンブルグ製は、二度ともドイツが敗戦国となったため、甚大な被害を受け圧倒的に稀少。

中でも20世紀初頭に当たる1906年に製造されたフルコンサートピアノで、今回お披露目するローズウッド材の外装を持つものは極めて少なく、今回このピアノが、パリにてほぼオリジナルの状態で見つかったことは奇跡的である。

多くの伝説的巨匠達が活躍した19世紀末から20世紀初頭は、一般に黄金時代と呼ばれ、最高の材料を豊富に使用できた環境のもとで数多くの名器が生み出された。ピアノの音色には時代によって趣向があると言われている。現代では数千人規模のホールで演奏される機会が多いこともあり、ホールの隅々に行き渡る輝かしいサウンドが要求される一方、1900年代当時のピアノは千変万化する多彩な音色とニュアンスと深い響きを備えており、今回お披露目するピアノは更に熟成されて大変魅力的な音色を持っている。

外装に贅沢に用いられた最上級のローズウッド材は、現在は枯渇や環境変化等で極めて調達困難であり、脚やペダル部分や譜面台に施された華麗な装飾と共に、正に「世界的名器」の名に相応しいといえる。

公益財団法人 「文化科学教育研究会」のご紹介

【設立目的と沿革】昭和26年4月、故下泉重吉理学士により文部科学省許可のもと設立。(現在は内閣府管轄) 科学教育・文化教育に関する基礎的研究、調査及び環境保護活動、文化普及活動を行い、併せて学校並びに社会における科学教育・文化教育の向上発展、環境保護に寄与することを目的としています。2017年11月、内閣総理大臣認定のもと、コンサート事業をスタートさせました。

【コンサート事業について】

●事業コンセプト

- ・広くクラシック音楽の普及活動を行い、地域社会における文化教育向上に寄与します。
 - ・若手音楽家へ演奏機会を提供し、サポート・育成します。
- (本コンサートはその活動です。)

●主な開催履歴

- ・2017年12月 於、サントリーホール (主催) 『1906年製スタインウェイお披露目コンサート』
- ・2018年5月 於、紀尾井ホール (協賛) 『現代の若きヴィルトゥオーソ達と黄金時代の名器による共演』
- ・2018年8月 於、浜離宮朝日ホール (主催) 『Summer Time Concert』

●特色

パリで発掘された1906年製ハンブルグ・スタインウェイ D-274 を使用しています。欧州に於いて二度の大戦を生き延びた歴史的・文化的な価値に加え、現代のスタインウェイとは異なる魅力を持つ音色、古楽器の魅力を多くの方に感じて頂く機会をつくり、文化芸術の発展に寄与します。

【寄付金について】

当財団の公益目的事業は、主に会員の方々からの会費および事業収入により運営しています。当財団の事業活動にご理解とご賛同を頂き、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。皆様からご預かり致します寄附金は、当協会の「寄附金等取扱規程」に則り、有効に使用させていただきます。